

福島第一原発事故の県内影響に係る監視調査計画

標記調査については、福島第一原発からの放出放射能の影響が迅速に検出される可能性のある調査項目を中心に調査を実施するものとする。

また、福島第一原発の状況、調査結果の推移等を踏まえ、適宜見直すものとする。

調査項目		調査地点	調査頻度	調査方法	備考
陸上試料	空間線量率	モニタリングポスト (松山市)	毎正時	NaIシンチレーション検出器	水準調査として実施しているものの公表頻度向上
		県四国中央庁舎 (四国中央市)	連続	伝送式可搬型ポスト (NaIシンチレーション検出器)	可搬型ポストを新たに設置
	大気浮遊じん	原子力センター (八幡浜市保内町)	毎日	ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリ	通常調査では伊方町(4地点)、松山市(1地点)で年4回実施
	降下物・降水	原子力センター (八幡浜市保内町)	毎日	(前処理及び測定時間等は環境放射能水準調査のモニタリング強化時の調査方法に準じる)	通常調査では伊方町(1地点)、松山市(1地点)で毎月実施
	水道水	原子力センター (八幡浜市保内町)	毎日		水準調査として実施しているものの調査頻度を向上(地点も変更)
海洋試料	海水	燧灘 伊予灘 宇和海	四半期毎 (5,7,10,1)	ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリ	通常調査として伊方町沖で年4回実施しているものの地点追加
	指標生物：海藻類 (ホンダワラ)	伊方町沖	四半期毎 (7,10,1)	(前処理及び測定時間等は環境放射能水準調査のモニタリング強化時の調査方法に準じる)	通常調査として伊方町沖で年1回実施しているものを調査頻度向上
	指標生物：無脊椎動物 (ムラサキイガイ)	伊方町沖	四半期毎 (7,10,1)		伊方町で四半期毎に実施しているものに測定核種としてI-131を追加